

# 平成30年度 結核医療関係者研修会

- 青森県の結核罹患率は全国平均を下回っていますが、東北地方の中では最も高くなっています。また、全国的な傾向として高齢の患者が多く、青森県でも70歳以上の患者が約6割を占めています。
- 昭和の結核高まん延期を過ごしてきた現在の高齢者は、結核既感染者が多いため、高齢になり、糖尿病等の合併症、免疫抑制剤やステロイド等の治療により免疫力が低下した際に発症することがあります。
- 一般的な肺結核の症状は、咳、痰、発熱（微熱）、食欲不振、倦怠感、体重減少などがありますが、高齢者の場合、症状が分かりにくく、結核に気づかないまま病状が進行していることがあります。
- ★そこで、今回の研修会では、公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部 保健看護学科 科長代理 浦川 美奈子 先生に「高齢者結核：感染拡大防止に必要なネットワークとは」と題し、結核の基礎知識や診断された場合の対応、また、結核を通じた地域のネットワークの強化等について御講演いただきます。

- ◎開催日時 平成30年11月3日（土） 14時～16時30分
- ◎受付 13時30分～
- ◎会場 県民福祉プラザ 4階 大研修室  
(〒030-0822 青森市中央三丁目20-30 TEL:017-777-9191)
- ◎定員 100名
- ◎参加費 無料
- ◎申込書 別紙のとおり
- ◎プログラム 下記のとおり

14:00 開会挨拶

独立行政法人国立病院機構青森病院 院長 和賀 忍

14:05～14:40 情報提供

(1)「青森県における結核の現状と課題」

青森県健康福祉部保健衛生課 技師 木村 梨沙

(2)「結核患者施設受け入れに関する意識調査～第2報～」

独立行政法人国立病院機構青森病院 看護師長 田中 恵美

14:40～16:30 講演(質疑含む)

演題 「高齢者結核：感染拡大防止に必要なネットワークとは」

講師 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部

保健看護学科 科長代理 浦川 美奈子

座長 独立行政法人国立病院機構青森病院 内科医長 坂本 佳穂

16:30 閉会

～医師・薬剤師・保健師・看護師・介護職員等多くの保健・医療・福祉に携わる関係者の皆様の御参加をよろしくお願ひします～

主催：青森県、独立行政法人国立病院機構青森病院

問い合わせ先：青森県健康福祉部保健衛生課 感染症対策グループ

(TEL:017-734-9284 FAX:017-734-8047)